2026年9月期
決算補足説明資料

ティアンドエスグループ株式会社

（東証グロース 4055）

2026.11.12

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

目次　～ 2026年9月期 ～

ハイライト	p. 3
決算概要	p. 4
営業利益の状況	p. 6
カテゴリー別売上高	p. 7
取引先別売上高	p. 8
過去10年のトレンド	p. 9
主要取引先動向	p. 10
エンジニアの状況	p. 11
連結損益計算書	p. 12
連結貸借対照表	p. 13
トピックス	p. 14
業績予想	p. 18
株主還元	p. 20

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

（今期のテーマ）

成長への旅立ち

1 売上高、利益ともに過去最高を継続 （過去同期比）

売上高	：45億 63百万円	（ 11.2%増↑	増加額：460百万円 ）	（前期比）
営業利益	： 8億 57百万円	（ 13.3%増↑	増加額：100百万円 ）	（同）
経常利益	： 8億 62百万円	（ 14.5%増↑	増加額：109百万円 ）	（同）
当期純利益	： 6億 31百万円	（ 24.1%増↑	増加額：122百万円 ）	（同）

2 半導体が好調、DXとAIソリューションも順調拡大

- 半導体ソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比19.3%増の1,525百万円と大幅増。
  半導体需要の拡大を背景に、システム開発案件の受注が増加しました。
- DXソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比7.2%増の2,565百万円と着実に拡大。
  既存顧客との取引拡大に加え、新規取引先開拓も進み、売上増加に寄与しました。
- AIソリューションカテゴリーの売上高は前年同期比9.5%増の472百万円と順調に増収。
  製造業のAI導入意欲は継続して高く、最新技術のソリューション提供も進みました。

3 10周年を迎えパワーアップ。半導体システム開発専門会社も設立へ。

2026年11月をもって、T&S発足から10周年を迎えました。新年度は、半導体領域のシステム開発会社を分社化し、より専門性の向上を目指します。㈱TMHとの業務提携により、ハードウェアとの組み合わせによる商機拡大も狙います。2027/9期の業績予想も増収増益を見込みます。

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

決算概要

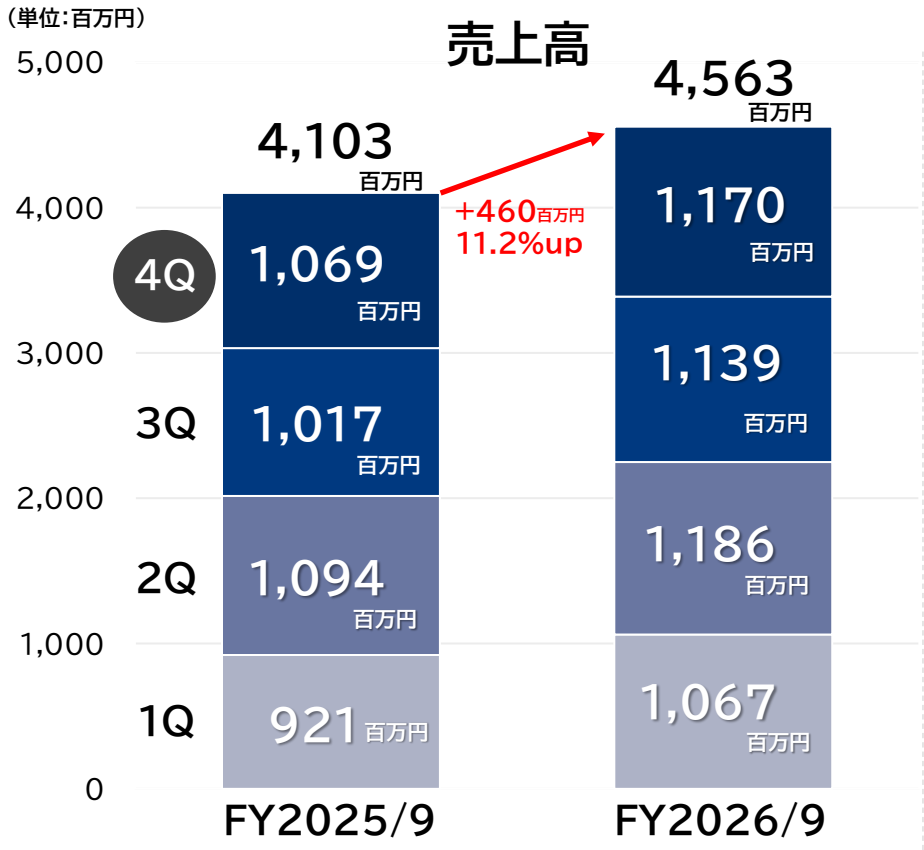
2026年9月期

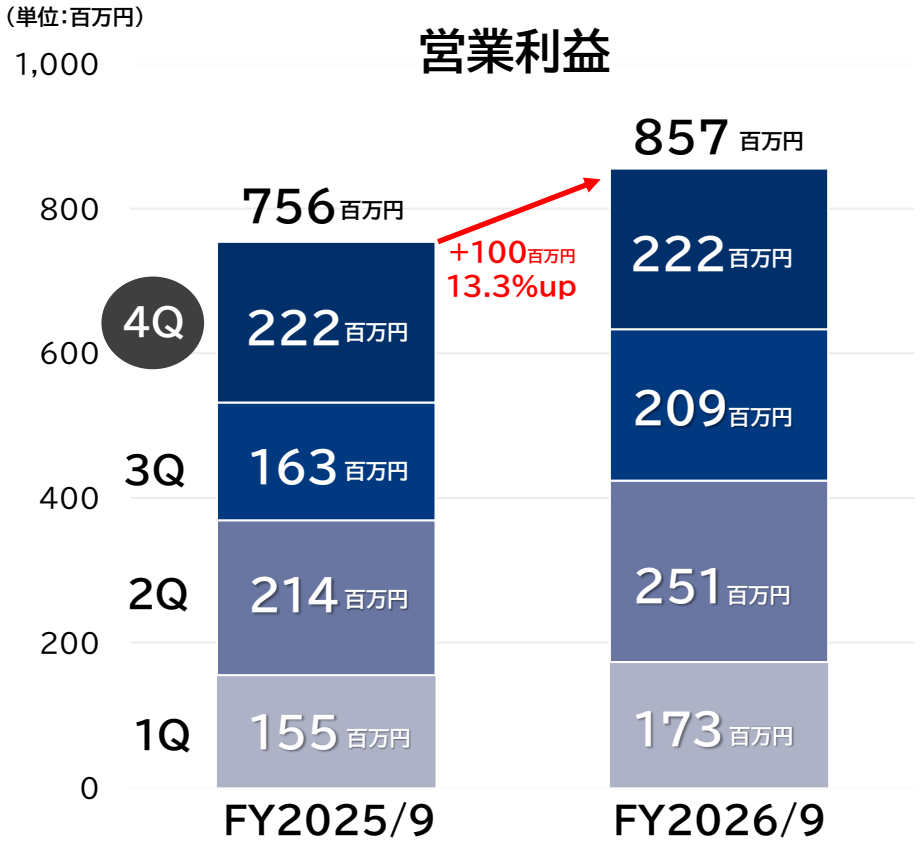
Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

決算概要(FY2026/9)

過去最高収益（過去同期比）を継続

売上高	：45億 63百万円	（ 11.2%増↑	増加額：460百万円 ）	（前期比）
営業利益	： 8億 57百万円	（ 13.3%増↑	増加額：100百万円 ）	（同）
経常利益	： 8億 62百万円	（ 14.5%増↑	増加額：109百万円 ）	（同）
当期純利益	： 6億 31百万円	（ 24.1%増↑	増加額：122百万円 ）	（同）



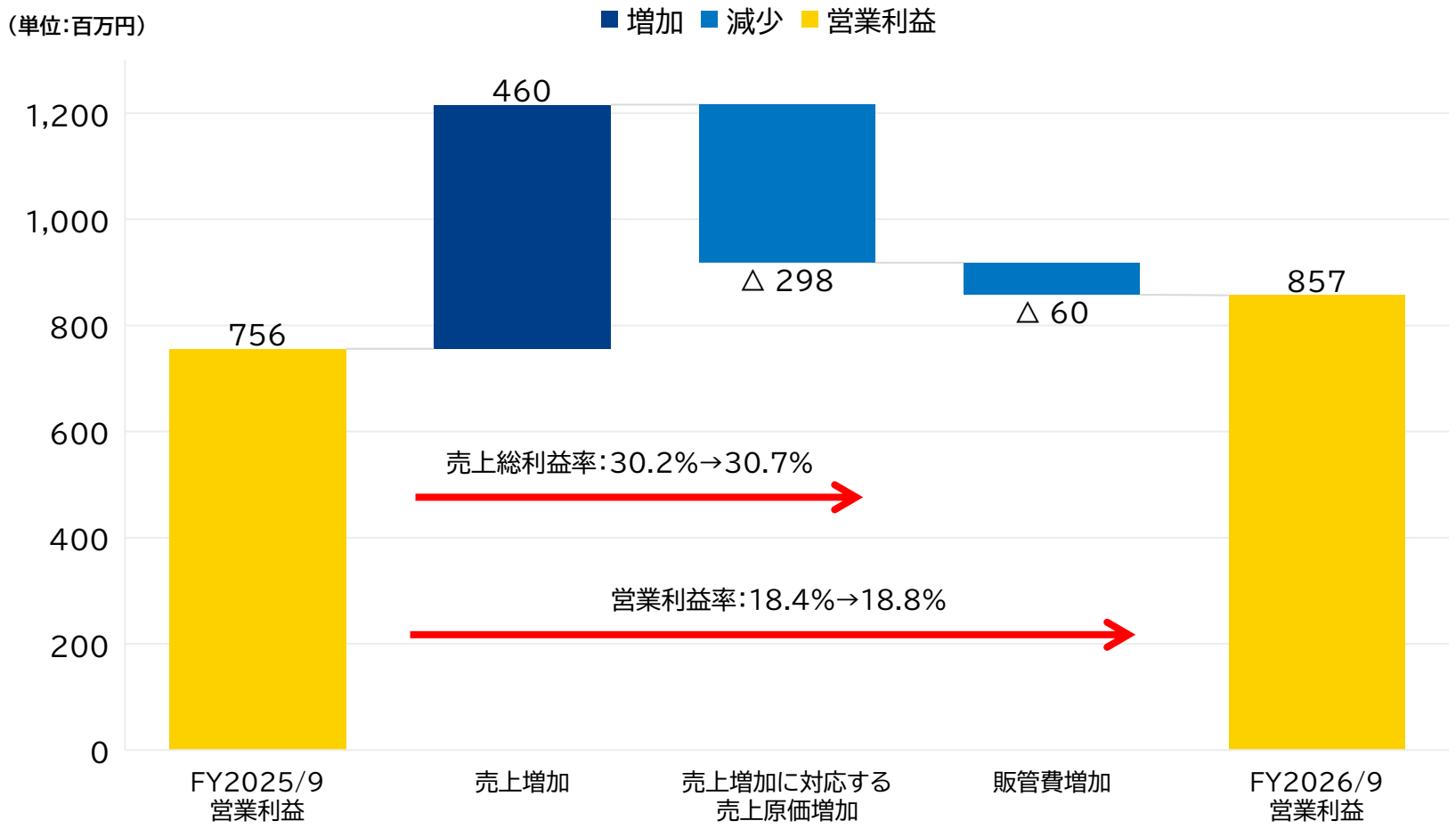


1Q、2Q、3Qに引き続き、四半期会計期間（3か月）の売上高・営業利益は前年同期を上回りました。

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

営業利益の状況(FY2026/9)

業績連動賞与48百万円を吸収し、売上総利益率は良化、100百万円の営業利益増
（前期比）



Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

カテゴリー別売上高(FY2026/9)

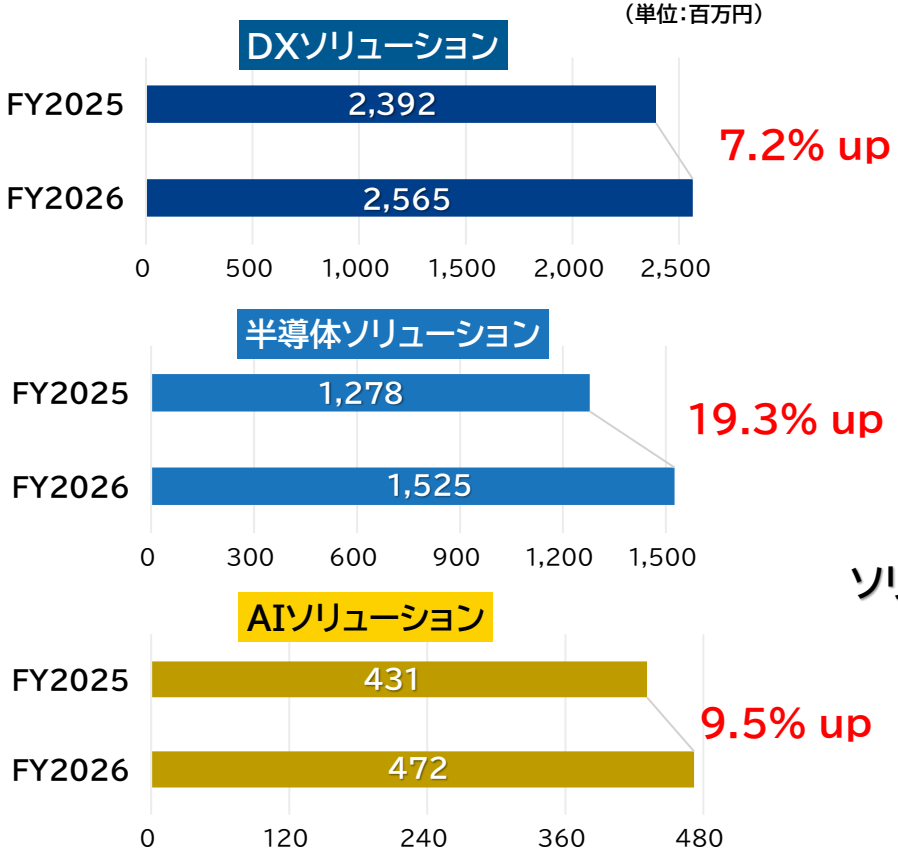
半導体ソリューションは19.3%増（前期比）と高成長を継続

DXソリューションは7.2%増（前期比）と幅広く堅調に拡大

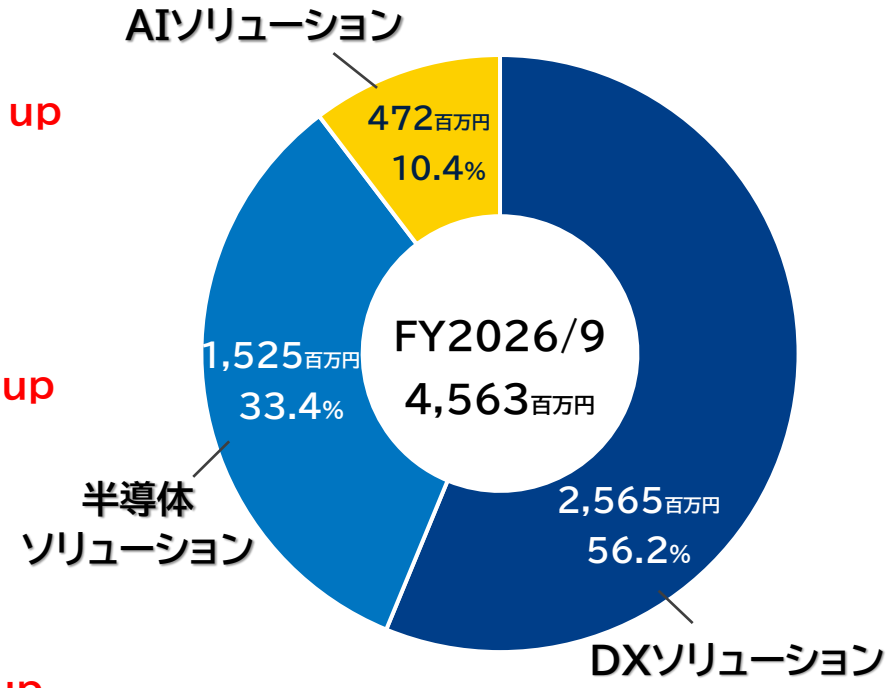
AIソリューションはR&D先行も9.5%増（前期比）と順調に拡大

売上高(カテゴリー別) ※1

（単位:百万円）



売上比率(カテゴリー別) ※1



※1　当社グループの事業セグメントは単一セグメントです。
売上高のみカテゴリー別に集計しております。

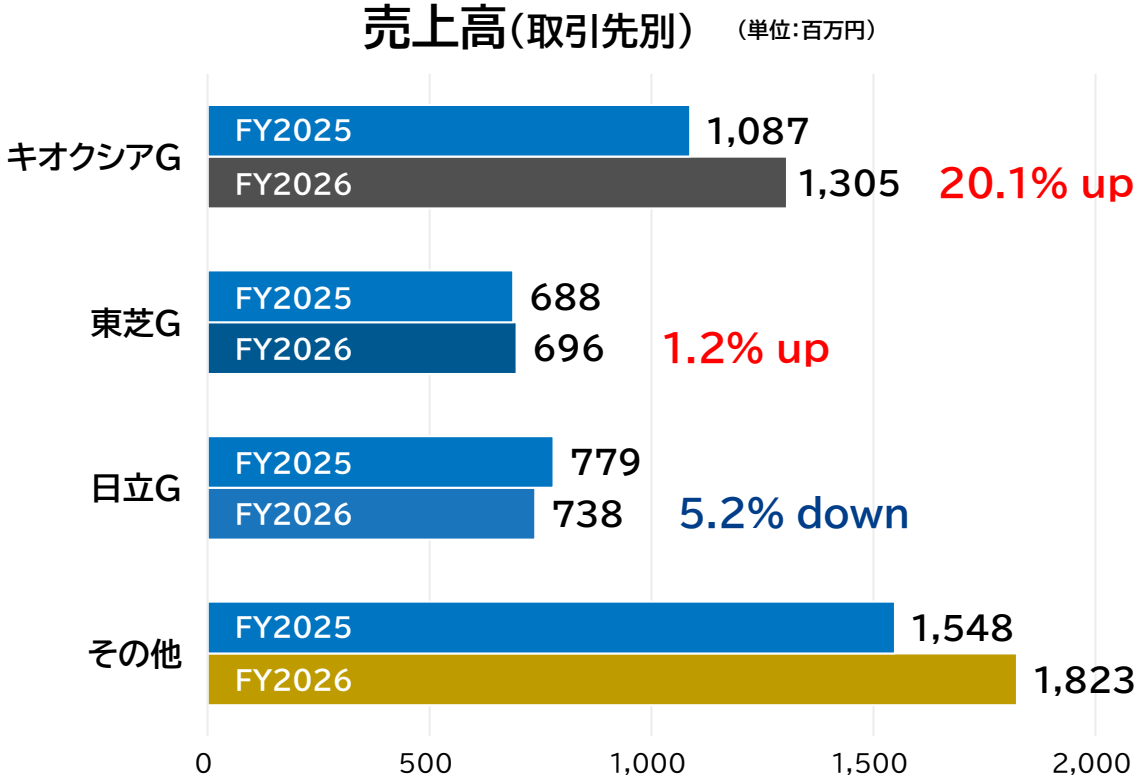
Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

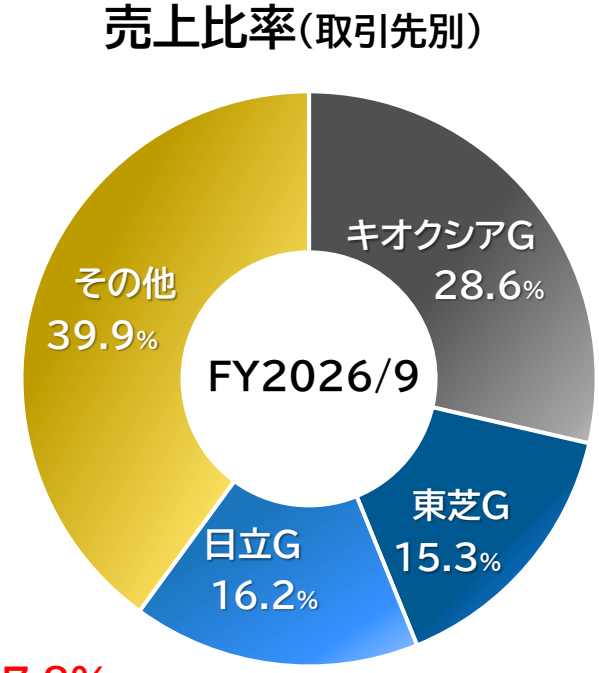
取引先別売上高(FY2026/9)

開発案件増でキオクシアGが大幅伸長

日立Gからリソースシフト

既存増+新規でその他も順調に拡大

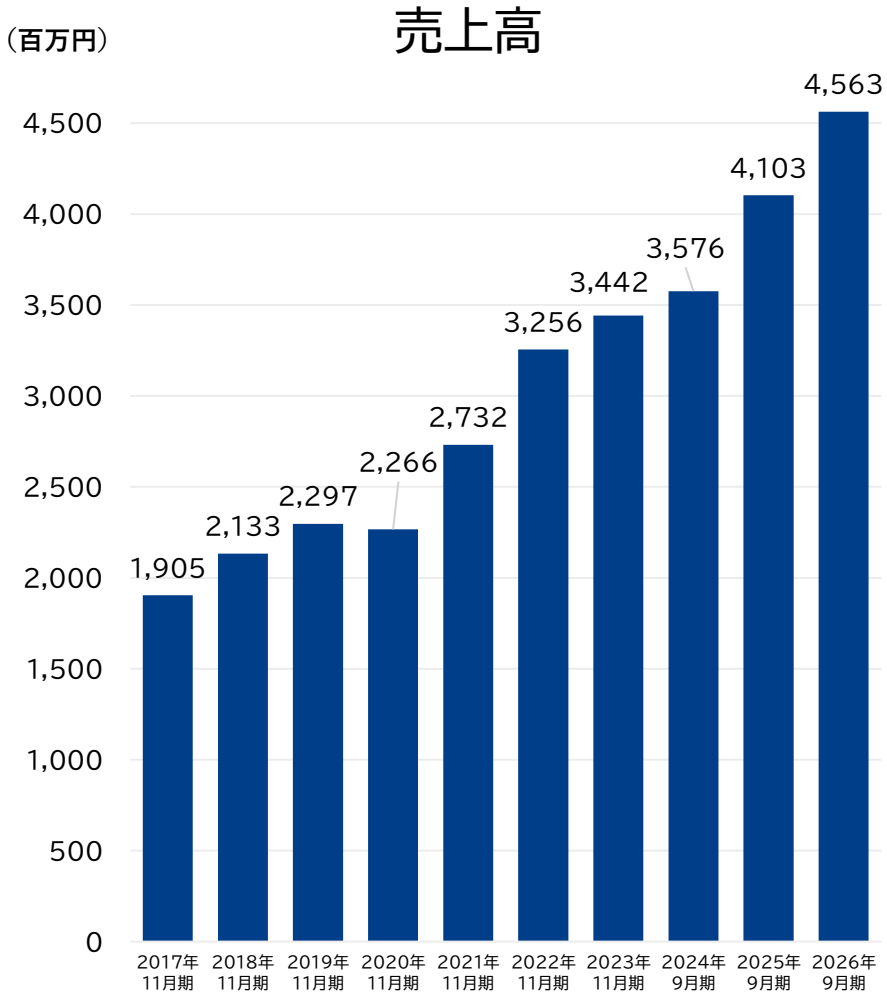


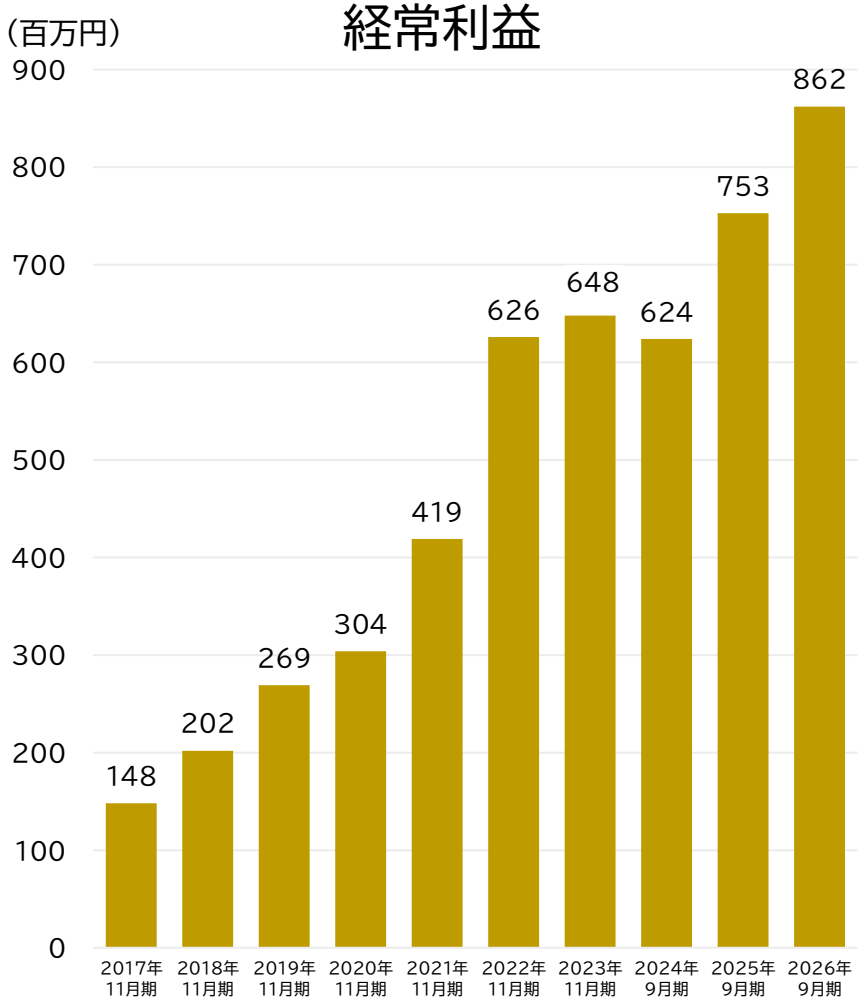


Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

過去10年のトレンド（ FY2017～FY2026）

この10年で、売上高は2.4倍、経常利益は5.8倍に





（注）2024年9月期は10ヶ月決算のため、12ヶ月に換算した数値を記載しております。

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

主要取引先動向

半導体業界を中心に成長続く

AIに関する需要の高まりや大きな技術潮流を背景に、半導体業界は、設備投資の増加、政策支援の強化、産業再編など新たな成長段階へと入りつつあります。また、DX、AIなどの情報化（IT化）関連のデジタル投資や省力化・合理化等のためのソフトウェア投資への意欲も底堅く、増加基調が続いています。このように、当社グループを取り巻く事業環境は安定して推移する見込みです。

キオクシアG

国内外の半導体市場は、生成AI向けデータセンター投資の拡大を背景に引き続き堅調に推移しています。特にキオクシアが主力とするNANDフラッシュメモリーは、AIサーバー向けエンタープライズSSD需要の急拡大により需給ひっ迫が継続しており、価格も高水準で推移しています。キオクシアはAI向けストレージ分野への製品展開を強化するとともに、業績も過去最高水準で推移しており、当社グループへの引き合いの増加が期待されます。

東芝G

非上場化後の構造改革効果が定着し、生成AIの普及に伴うデータセンター需要の拡大を背景に、送配電設備、産業システム、HDD・半導体事業が好調に推移しています。2026年度第1四半期は売上高・営業利益ともに大幅増加し、営業利益率は過去最高水準を更新しました。エネルギー、データセンター、フィジカルAI、防衛分野などの成長市場への投資も進めており、当社グループへの引き合いも引き続き堅調に推移すると期待されます。

日立G

AI需要やデジタル化投資を追い風に、デジタルソリューション事業「Lumada」を中核とした成長が継続しています。特に「Lumada 3.0」およびフィジカルAI事業「HMAX」の展開を加速しており、エネルギー、モビリティ、産業、社会インフラ分野において高い成長を維持しています。また、AI向けデータセンターの増設に伴う電力インフラ需要や企業のモダナイゼーション需要が拡大しており、当社グループへの引き合いも堅調に推移すると期待されます。

その他

生成AIやAIエージェントの本格活用が企業活動全般に広がるとともに、DX投資も継続的に拡大しており、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き良好に推移しています。特に既存システムのモダナイゼーション、クラウド移行、AI活用基盤整備、サイバーセキュリティ強化などの需要が拡大しており、主要取引先3グループに加え、幅広い業種・業界における顧客との取引拡大と業績への貢献が期待されます。

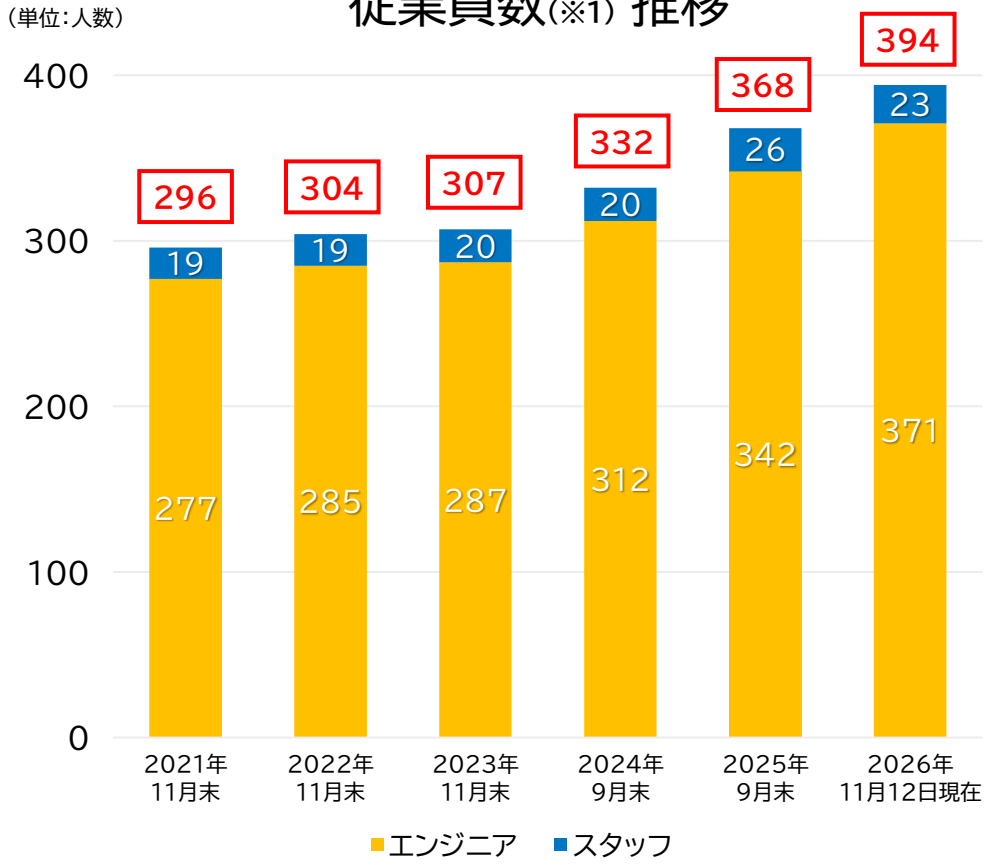
（各社の公表資料、及び新聞報道等より当社作成）

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

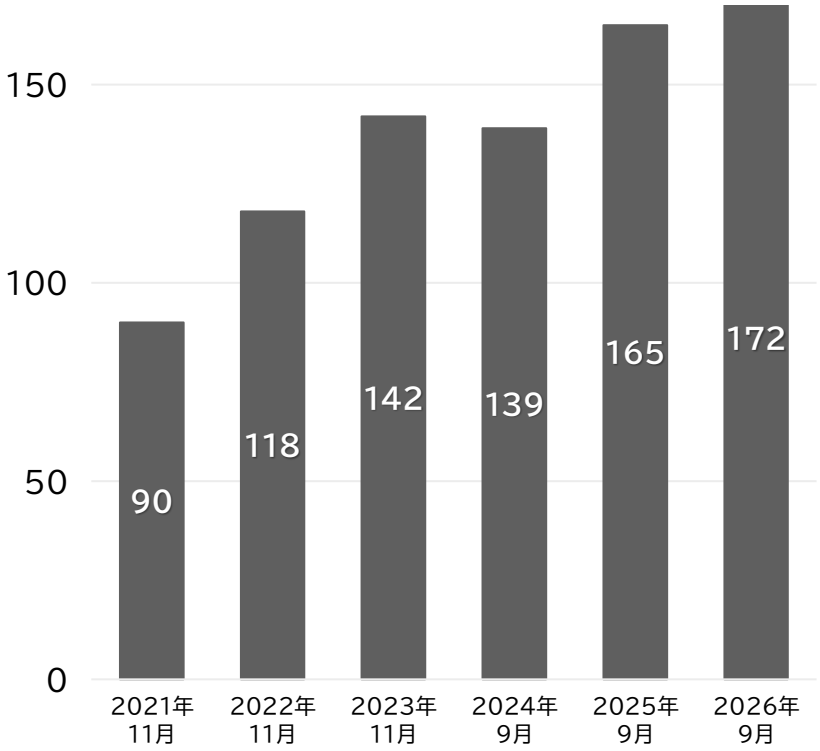
2031年目標(700名)達成に向けた取組みを推進中

前期末比エンジニア29名増(8.5%増)。

従業員数(※1) 推移



BP(※2)発注件数 推移



※1 ティアンドエスグループ全体
※2 BP…ビジネスパートナー 業務委託等の形態で当社グループの業務に従事するエンジニア

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

連結損益計算書(FY2026/9)

単位:千円	FY2025/9	FY2026/9	増減額	増減率
売上高	4,103,317	4,563,850	460,532	11.2%
売上原価	2,864,400	3,163,105	298,705	10.4%
売上総利益	1,238,917	1,400,744	161,827	13.1%
販売費及び一般管理費	482,473	543,364	60,890	12.6%
営業利益	756,443	857,380	100,936	13.3%
(営業利益率)	*(18.4%)*	*(18.8%)*		
経常利益	753,712	862,934	109,222	14.5%
(経常利益率)	*(18.4%)*	*(18.9%)*		
親会社株主帰属当期純利益	509,237	631,930	122,693	24.1%
(親会社株主帰属当期純利益率)	*(12.4%)*	*(13.8%)*		

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

連結貸借対照表(FY2026/9)

単位:千円	FY2025/9	FY2026/9	増減
流動資産	3,369,815	3,698,301	328,485
固定資産	293,142	1,153,387	860,245
資産合計	3,662,958	4,851,689	1,188,731
流動負債	683,592	600,687	△82,904
固定負債	66,305	352,606	286,300
負債合計	749,898	953,294	203,395
純資産合計	2,913,059	3,898,395	985,335
負債純資産合計	3,662,958	4,851,689	1,188,731

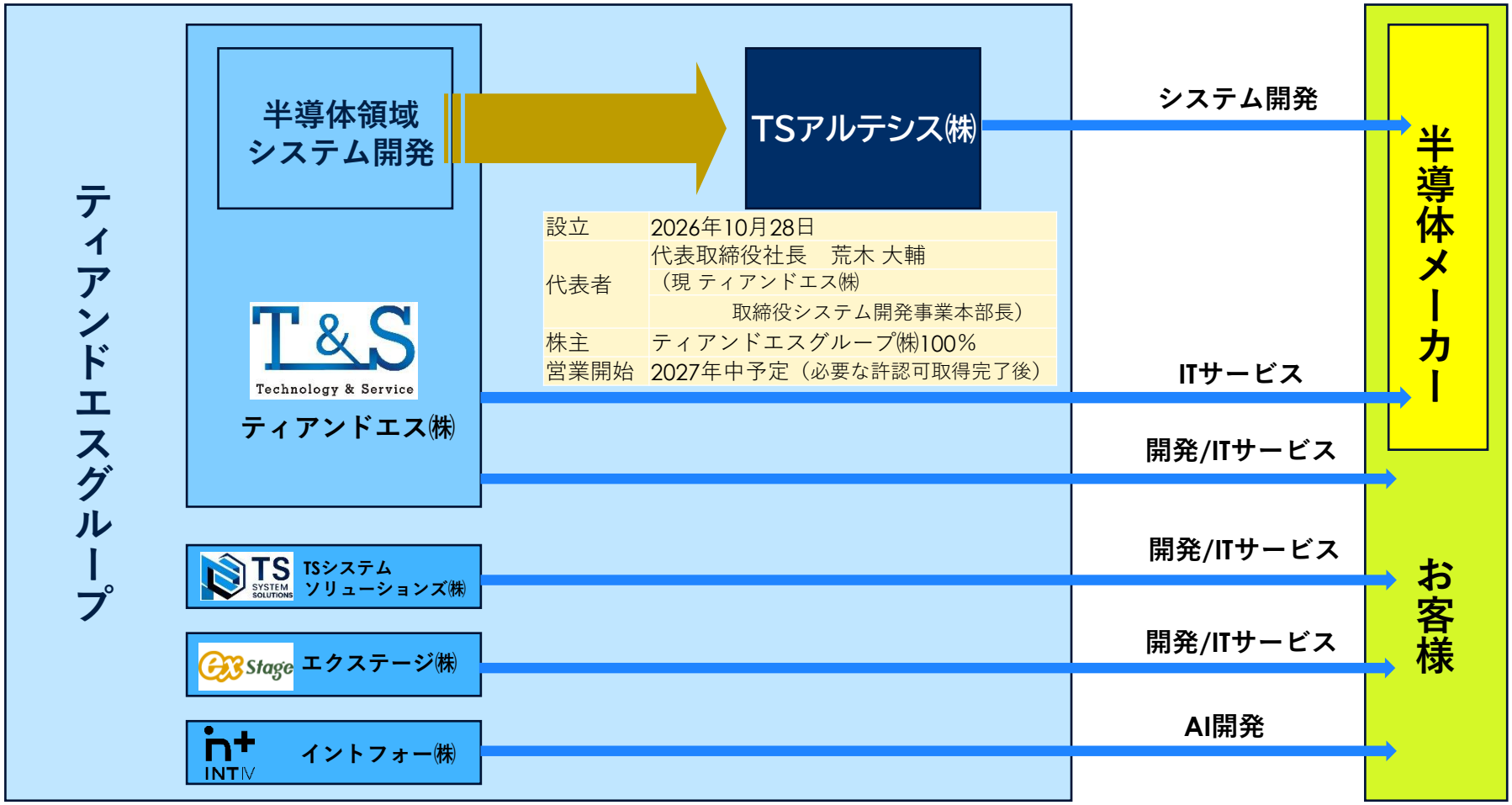
Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

トピックス

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

トピック① ： TSアルテシス社設立　～半導体分野のシステム開発を分社化

半導体領域に関する技術とノウハウを結集させ、国内でも数少ない
半導体製造特化型SIer（生産管理システム・装置連携・データ分析基盤）
として独自のポジションを確立



Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

トピック② ： ㈱TMHとの業務提携　～半導体業界向けソリューション拡大へ

半導体製造現場の課題を<u>ハード・ソフトの両面から一元的に解決</u>する
「一気通貫のソリューション」の提供へ

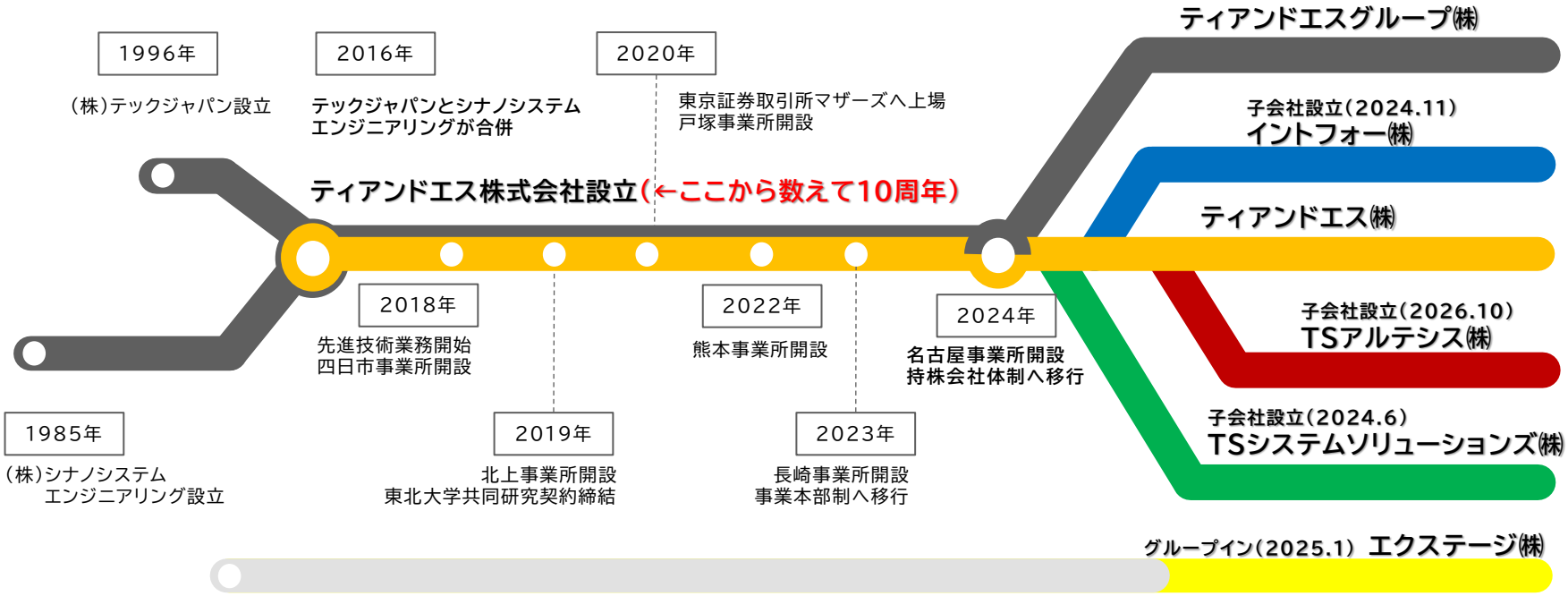






Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

トピック③ ： 10周年を迎え、T&Sグループは更なる躍進を目指します



商号	ティアンドエスグループ（株）	ティアンドエス（株）	TSシステム ソリューションズ（株）	イントフォー（株）	エクステージ（株）	TSアルテシス（株）
HP	https://www.tecsvc.co.jp/	https://www.tecsvc.co.jp/company_tands/	https://www.tecsvc.co.jp/company_tss/	https://www.tecsvc.co.jp/company_intiv/	https://ex-stage.co.jp/	（2027年中営業開始予定）
設立	2016年11月1日	2024年1月12日	2024年6月5日	2024年11月1日	2008年4月8日	2026年10月28日
代表者	代表取締役社長　武川義浩	代表取締役社長　三橋茂	代表取締役社長　近藤哲史	代表取締役社長　小林林広	代表取締役社長　樫浦紀光	代表取締役社長　荒木大輔
事業拠点	本社：横浜	本社：横浜 事業所：四日市、北上、戸塚、熊本、長崎、名古屋	本社：横浜	本社：横浜	本社：埼玉	本社：横浜
従業員数	394名（2026年11月時点　グループ全体）					
事業内容	グループ全体の経営管理	システム開発及びその関連サービス事業	技術者の募集、採用、育成に関する支援サービス、ソフトウェア開発、インフラ基盤設計構築	AI ソフトウェア開発ビジネス	ソフトウェア・コンピューターシステムの企画、開発、制作、保守管理、コンサルティング	半導体業界向けソフトウェア・コンピューターシステムの企画、開発、制作、保守管理、コンサルティング

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

業績予想

2027年9月期　通期

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

通期業績予想進捗率

（テーマ） 確信をもって、解き放つ

単位:百万円	2026年9月期 通期(実績)	2027年9月期 通期(予想)	前期比(%)
売上高	4,563	4,900	107.4%
営業利益	857	910	106.1%
EBITDA	878	933	106.2%
経常利益	862	916	106.2%
当期純利益	631	634	100.4%

T&Sグループ全体
当社グループを取り巻く環境は好調に推移しており、前期のグループ全体の業績は計画を上回る着地となりました。長期ビジョン達成へ向けた各種施策やプロジェクトが進行中で、管理体制強化と業績への貢献を計画的に推進してまいります。

T&S システム開発事業本部
前期は半導体メーカーをはじめとする主要取引先からの継続案件が引き続き好調を維持し、年度を通して業績は堅調に推移しました。主要取引先の基幹システム刷新プロジェクトが本格的に始動することから、新年度の業績も同様に堅調な推移が見込まれます。

T&S ITサービス事業本部
前期は年度を通して取引先開拓を強化し、複数社との新規契約獲得に加え、既存顧客との関係深化も進みました。エンジニアのキャリア採用が地方拠点を含め着実に進展しており、リーダー・サブリーダー層の増員による組織力強化とAI活用による生産性向上を軸に、新年度はさらなる成長を実現してまいります。

イントフォー
顧客の事業環境に先行き不透明感がありながらも、前期は概ね計画どおりに推移しました。製造業のAI導入意欲は継続して高い状況であり、新年度はエッジAI分野におけるエージェントAI、VLM、デジタルツインなど最新技術分野での事業拡大を目指してまいります。

TSシステムソリューションズ
重点顧客からの継続的な案件受注およびグループ連携による事業拡大により、前期の業績は堅調に推移しました。事業基盤の強化と高付加価値案件へのシフトも進展しており、新年度は新たな重点顧客の開拓と商流改善を通じて、持続的な成長を目指してまいります。

エクステージ
グループイン後、初めてのフル参戦となった前期は、グループの経営資源を活用した事業展開が進み、増収増益で着地しました。企業価値も上がり、プライム企業との取引が増えたことが高い収益を生み出す要因となっております。この成果を次なる成長への足掛かりとし、新年度はさらなる事業拡大に挑戦してまいります。

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

株主還元

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

株主還元　～ 累進配当～

累進配当(※)方針に従い増配を継続します

配当の基本方針

当社は、**将来の成長が見込まれる分野における新しい技術取得への投資を通じて企業価値を向上させる**ことを経営の重要課題と位置付け、これを実現することが株主に対する利益還元であると考えております。利益配分につきましては、当該企業価値向上を実現するために必要な内部留保の確保を優先しつつ、業績を考慮した**累進配当（※）を継続して実施**していくことを基本方針としております。

（※） 累進配当とは、原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策をいいます。
当社では可能な限り毎期増配することを目指します。

2027年9月期につきましては、上記方針に従い、1株当たり12円（1円00銭増配）を予想しております。

配当に関連する財務指標は以下のとおりです。

	1株あたり配当金	配当性向（連結）	株主資本配当率（DOE）
2026年9月期（予定）	11円00銭	13.1%	2.4%
2027年9月期（予想）	12円00銭	14.1%	2.2%

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.

お問い合わせ先

ティアンドエスグループ株式会社
経営企画IR部
Email / pr_2@tecsvc.co.jp
URL　/ https://www.tecsvc.co.jp/

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

Copyright © T&S Group Inc. All rights reserved.